



『豪溪』制作年不明
三宅武坪 (1891~1971)

金光中学の美術教師。
出版物に『道の子供』『ごほんぶまいり』あり。



『錦秋』制作日不明
河原修平 (1915~1974)

倉敷市出身の画家。金光中学へ進んだ後
に絵筆を握るようになった



『妙』『藝韻』制作年不明
棟方志功 (1903~1975) 青森県出身。

日本を代表する版画家。
昭和20年代~30年代にかけて金光町にも逗留し、初代館長金光鑑太郎はじめ文化人と交流した。



『旧教主室(現修徳殿)襖絵』昭和19(1944)年
小林和作 (1888~1974) 広島県尾道市の画家



立教百年祭 特別参拝者との面談
撮影：昭和34(1959)年11月
場所：旧教主室【現修徳殿】

この展覧会は立教160年を記念して、金光図書館が所蔵している芸術品、ご縁があつて金光図書館に集まってきた資料などを展示させていただきます。

本展覧会をとおして、文化が生きる力を支えることを実感していただきたいと思います。



場所 金光図書館 第1・2展示室
浅口市金光町大谷 320 番地
(0865) 42-2054
konko-library@konkokyo.or.jp



彫刻家 金子九平次の世界



『春愁』と金子九平次
大正 10 (1921) 年 9 月 27 日撮影



『ロダン美術館』
制作日不明 (絵画)



『をどり』昭和 11 (1936) 年
大阪高島屋金子九平次展出品 (木彫)



『萌え出づる春』
大正 11 (1922) 年
パリ留学中に制作



『乃木希典像』制作日不明
師匠長谷川栄作の「乃木希典の那須の別邸
で農耕をしている姿」の作品の習作。
長谷川栄作の作品は、那須の美術館にある。



題名不明 昭和 28
(1953) 年 (石膏像)



『栄華』大正 9 (1920) 年 (木彫)
※10月の御大祭にて展示



初代館長旧図書館
館長室にて撮影



『春野』長谷川栄作・作

制作年月日不明

箱書きに、「昭和 12 (1937) 年 旧作を
観る」と記述あり。

長谷川栄作 (彫刻家)
金子九平次の師匠。
長谷川栄作は、1894 (M27)
浅草に生まれる。大正、昭和に
活躍した彫刻家。
母イネは、乃木希典の妹。

『春愁』大正 10 (1921) 年
第 3 回帝展美術院展覧会

入選作品 (木彫)

師匠長谷川栄作の『春野』に触発されて
大正 10 年 4 月から作り始める。

※1 階ロビーに有り。



この 3 作品 は制作日、題名ともに
不明 (木彫)

※10月の御大祭にて展示

金子九平次 (彫刻家 1895~1968)

金子九平次は、明治 28 (1895) 年に生まれた。父・金子吉蔵師は
金光教御田教会初代教会長。金光中学卒業後、長谷川栄作らに学ぶ。
パリに留学シアントワーヌ・ブールデル (1861~1929) のもとで学んだ。
作品は国立ルクサンプルク美術館に保存された。

帝展に入選した『春愁』は金光図書館旧館長室に保存された。

2018年秋に、フランス・パリのブールデル美術館で金子九平次の
木彫『想に耽る女』が展示され、パリ市民の中で話題になった。

